



## テキサス大会実行委員会

ボランティア代表

## レベッカ・カーリーさん来日！！募集活動を実施

第12回日米草の根交流サミット・テキサス大会実行委員会ボランティア代表のレベッカ・カーリーさんがサミット大会の募集活動のため来日し、日本各地を訪問されました。

レベッカさんは5月14日に来日したその足で来年の開催が予定されている千葉県を訪問し、その後滞在1週間で名古屋、京都、広島、東京と計5箇所の訪問と強行スケジュールながら、サミット大会開催への情熱を米国からそのまま持ち込まれました。レベッカさんは日本で英語の教育に携わったこともあり、日本語も流暢ですが、滞在先ではホームステイを行い、改めて日米市民交流の意義を実感するとともに、ホストファミリーとはテキサス大会での再開を約束していました。

5月16日に訪れた京都では、京大大学生50名以上を集め、米国でのボランティア活動について約1時間講演(英語)しました。はじめに「米国では10代の59%が1週間に3.5時間のボランティア活動を行い、それは年間で総時間24億時間・人にのぼります。」と米国のボランティア事情を説明すると、出席した学生からは驚きの声があがりました。参加した学生の一人が「将来はスクールカウンセラーを目指しているためテキサス大会へ参加して現地で活躍されているカウンセラーと交流をしたい」との意見を出せば、「そうした声に参加者から上がればより良い大会になる」と積極的に応じていました。5月20日には財団の幹事会にも出席し、テキサスでの準備状況などを説明し、より良い大会実施への意見交換を行いました。テキサス大会実行委員会は全てボランティアで構成され、毎週火曜日に会議を開催して11月の開催を迎えます。

今年は1年で広島、テキサスの日米2大会を実施する初めての年です。テキサス大会の募集期間は一般参加が8月30日が締め切りです。



財団幹事会に出席したレベッカさん



## テキサス大会 地域分科会新着情報

テキサス大会はレベッカさんが代表を務めるヒューストンの実行委員会と連携して各地域分科会開催地で準備が進められています。日本からの参加者をお待ちする地域分科会を紹介します。

### 【Austin分科会】

- テーマ1) **教育**; 大人子供を問わず職業訓練、社会適応能力の向上などを中心に教育システムを組むAmerican Yourthworksでのスクールツアーやテキサス有数の進学校Hill Country Middle SchoolでのESL授業の視察などを実施します。
- テーマ2) **環境**; 住宅からオフィスまでを緑に囲まれて暮らす環境づくりを実践するオースティンエネルギー・グリーンビルディング・プログラムを視察。また、1840年代に建てられた住宅やオーガニック・ファームを視察します。
- テーマ3) **ハイテク**; オースティンにある数多くのソフトウェア、インターネットなどIT産業に関する企業により設立されたNPO組織Austin Technology Councilでのディスカッションや、広告掲載やハイリスク回避など新規参入テクノロジー会社の発展や育成のための援助施設Austin Technology Incubatorの施設見学や意見交換を実施します。

### 【Nacogdoches分科会】

- テーマ1) **歴史**; 歴史的建造物の多いダウントウンを中心にテキサス州最古の町を訪問します。
- テーマ2) **産業**; 電話、木材、ドッグフードなどナカドーチェスの地域産業を代表する企業などを訪問します。
- テーマ3) **暮らしの移り変わり**; 歴史的建造物、アパートなどナカドーチェスのバラエティに富んだ住宅を訪問します。
- テーマ4) **演劇交流**; 大学生向け特別プログラム。演劇交流を行います。



# 広島大会ボランティアa-sha@h活動報告

広島大会の準備を続けるボランティア組織a-sha@hより活動報告が届きました。準備状況とあわせてご紹介いたします。



## ボランティア通訳ガイドセミナー5月25日(土)無事終了!

No.33号でお伝えしていたアーシャ主催第1弾の養成講座は3月23日より4回の講義と広島平和記念公園でのガイド実習1回を実施しました。下森さんのご主人が手作りの修了証書をご準備くださり48人の方へ遠山代表より手渡されました。



通訳ガイドセミナーの様子

さらに来月から4回シリーズで予定している「ボランティアセミナー初級」では今回の受講生数名に講師役をお願いしています。まさにボランティア同志が切磋琢磨して大会成功に向けて取り組んでいます。



## 企画スタッフ準備開始!!

4月4日に広島大会の企画・調整機関として幹事会を立上げ、月1回の会合を開くことになりました。

各プログラムについての活発な議論をいただきそれを踏まえながら事務局アーシャがさらに検討をかさねてボランティア企画スタッフと準備を進めます。

5月11日には第1回のボランティア全体ミーティングを開き、ガイド班・ホスピタリティールーム班など6つのグループにわかれて今後の具体的な準備について話し合った後、それぞれのリーダーを決めました。また、5月22日には10月10日に行われる広島市分科会の企画ボランティア会議もスタートしました。これからは各グループのリーダーとアーシャが連携を取って企画を作っていきます。

一方、地方分科会の中でも参加者数のほぼ確定しているコラル受入れ先ではホストファミリー募集など具体的な準備に入っています。今後、各地区のボランティアやアメリカ側参加者とのコミュニケーションを取りながら全国的に盛り上げていきたいと思えます。



## Youth Project 進行中!!!

アーシャの若手2人が中心になり、次世代を担う若者にも広島大会の企画・運営を通して社会性やプレゼンテーション能力を身につけてもらおうと、大学生を中心にボランティア参加の呼びかけを行なっています。広島にも「compa-us」の皆さんに負けないようなバイタリティー溢れる若者が沢山います。そんな彼らの活躍にどうぞご期待下さい。



## 結成から早くも半年!!!!ここでアーシャ組員の紹介です

遠山道子(代表・前列中央):いつも爽やかに軽やかに難題をこなして下さいます。  
下森静子(委員長・前列右):人脈の広さに脱帽!養成講座は彼女無しではできません。  
有本陽子(事務局・後列左):楽しみながら真剣に事務局を支えてくれています。  
保田直美(事務局・後列左2):アーシャの最有力成長株。今が投資時です  
国森貴美(財務・後列左3):安心してお財布を預けています。  
猪原知司(スーパージョー・後列右):彼抜きでは事が進まない!!日々感謝です。  
そしてこのページを担当したのは、田邊裕美(事務局長・前列左)でした。

それでは皆さま、10月に広島でお会いしましょう。

## a-sha@hのあゆみ

2001・11月 発足  
12月 参加予定者へ「グリーティングカード」送付

2002・2月 参加予定者へ手紙を添えて万葉-送付  
地方分科会地区訪問開始

3月 US参加者とメールのやり取り開始  
今年のボランティア募集開始  
(現在の登録数92人)  
養成講座開始  
市分科会場訪問

4月 幹事会スタート  
マツダ財団より活動支援金の贈呈を受ける

5月 ボランティア準備開始  
Ms.バツカ加、テキサスパーソン開催(5会場で160人参加)  
広島大会参加者申込み受付開始



a-sha@hの皆さん

# テキサスでのフリータイムの過ごし方

テキサスでのフリータイム企画として特別プログラムが進行中です。テキサスの特徴を活かした、サミット大会ならではの企画です。どうぞ奮ってご参加ください。

## 「NASA/ジョンソン宇宙センター&キーマ・ボードウォーク訪問ツアー」

日時：13日 9:00～19:00

ヒューストンといえばNASA！様々なアトラクションツアーをはじめ、NASAの全てをご覧頂けます。また、ツアー後には今ヒューストンで最も人気のショッピング&レストランセンター“キーマ”でゆっくり買い物や夕食を堪能することが出来ます。

ツアーにかかる費用はサミット料金に含まれません。

## 「宇宙飛行士との交流会」

日時：14日 10:00～11:30

現在企画中のプログラムですが、宇宙飛行士による講演会、宇宙での生活、トレーニングなど飛行士の経験など様々なお話を聞けます。



## フェアウエル・・・100年の歴史とともに

全てのプログラムが終了し、最後にホストファミリーやボランティアとの別れを惜しむと同時に新たな継続を誓うフェアウエルパーティ。会場はテキサス100年を超える歴史を持つ「George Ranch Historical Park」で行われます。また、当日は中西部の代表ともいえる“ロデオ”を披露する予定です。

フェアウエルパーティはサミット大会を飾るフィナーレです。大会参加者やホストファミリー、また大会の諸準備を進めたボランティア実行委員会などサミット大会開催に携わった全ての人が可能な限り参加をし、サミット大会をきっかけにした交流の継続と、次回大会の開催を誓い合います。



## 「財団HP続々！リニューアル！！のお知らせ」

財団のホームページがまたまたリニューアルです。トップページのデザインを一新したほか、広島大会やテキサス大会の内容を盛りだくさんに紹介しています。また、NTTコミュニケーションズのストリーミング技術を使った大会開催地紹介やサミット大会をきっかけにした日米市民交流の事例などのビデオなども配信しています。船橋情報ビジネス専門学校（鳥居高之MM部長・財団評議員）の学生ボランティアの皆さんの協力を得てリニューアルしました。ふんだんな情報と見て楽しいHPを目指して継続してステップアップしていきます。今後ともよろしく願いいたします。





# NY学生グループ訪日・交流プログラム実施

日本語を学習するニューヨークの中高生9名と先生2名の一行が3月29日(金)～4月6日(土)間で来日され、東京、静岡、広島を訪問されました。

学生たちは普段の日本語の授業では触れることの出来ない日本の文化や生活習慣を体験し、またホームステイを通して日本人との親睦を深めることが出来ました。この時期は桜がまだ咲いており、学生たちは教科書でしか見たことがなかった日本の花見を体験することができ、日本人の“心”を感じました。

広島では広島サミットボランティアが中心となって、交流プログラムを企画し、さらにホームステイ・プログラムを行いました。ここでは日本語を実際の現場で教えている津田先生と小出先生の両2名による講演会及び交歓会を行い大反響でした。



## 1、今回の来日の経緯

静岡大会では東海村の原子力発電所臨界事件で予定していた来日ができず、今回9月11日の同時多発テロ事件でも、また、おおきな日米国際交流の波に逆流する動きに対して、どうしても広島交流は何なりかの成果を上げたいと考えていました。

## 2、来日の目的

アメリカで日本語勉強している子供達に日本での色々な出会いを通じ、彼らの異文化体験が彼らの成長に繋がっていけばと考えています。また、過去の経験から多くの学生がホームステイをして成長していく姿を見えています。今回の広島交流もその意味で楽しみました。

## 3、広島での感想、エピソードなど

学生たちの緊張と日本人家族との出会いとホームステイ後のあの別れ難さのなかにあるドラマは先日お送りした広島駅構内での写真のなかに表れていると思います。

テレビクルーと一緒に桜で満開の宮島を散策した話をしてくれましたし、わたしもホストファミリーの方と雑の探索や、裏の路地にある満開の桜を見たり、楽しいひとときを過ごしました。

広島での講演会に沢山の人が集まってくださりアメリカでの教育の在り方についてお話しできた事は大変重要な事でした。

## 4、今後の発展

今度の10月の広島大会でもっと日米の教育問題について活発な討議ができるといいとおもいますし、その後の継続的な討議ができる事を希望しています。

国連国際学校 津田 和男

1、今回の来日の経緯：NECTJのイクスチェンジプログラムに、昨年度から参加。ただ単に楽しかったからだけでなく、連れて行った3名の生徒の、日本や日本語に対する関心がその後さらに深まったり、クラス活動での積極的な姿勢が、他の生徒に対しても良い影響を与えたのを実感したため、今年も参加しました。

2、来日の目的：上記と重複しますが、生徒を日本に連れて行くこと、ホームステイを通して、日本の文化や生活を直接体験させてあげることの意義深さを実感しましたので、これからも自分が出来る限り、そしてそれを希望する生徒がいる限り、参加しようと思っています。

3、広島での感想、エピソードなど：最初に広島駅で全員が集めた時には、こちらホストファミリーの皆さんも、みんなどこか不安が顔に出ており、このまま解散してしまって大丈夫だろうかと心配でした。でも2日後に出発のため駅に集まった時には、生徒はみな「広島大好き。私のホストファミリーの家族が大好き」と興奮。ホストファミリーの皆さんからも「いい子でしたよ。また来てほしいくらいです。」とおっしゃって戴き、大変嬉しかったです。またアーシャの皆さんのアレンジにより、広島で日本語を教えていらっしゃる方々とお話をさせて戴く機会を得られた事は、私にとって大切な経験となりました。

4、静岡での感想、エピソードなど：今年で2回目の訪問。私のホストファミリーとは個人的にその後もお付き合いを続けており、昨年の夏に主人と豊田町を訪問、役場の皆さんにもお会いしてありましたので、豊田町は私の第二の故郷になりつつあるような感じがします。豊田町では昨年今年も、役場の皆様のお世話によるグループでの体験(学校訪問や美術館や名所めぐりなど)と、ホストファミリーとの個人的な触れ合いの両方を経験させて戴きました。これは生徒にとって、ある意味でオフィシャル、つまり自分がアメリカの高校生の一人として日本の人達に接しているんだという事を認識させる上で、とても意義があると思います。

5、今後の発展：豊田町の役場の皆さんとは、今後双方向の交流をめざし、いずれ豊田町の中高生をNYで受け入れて行くような体制を作って行きましょう、という話をしています。以上、何とかお役に立てると良いですが…。どうぞ宜しくお願い致します。

小出 典子

